種別デザインマニュアル

１　戸建て住宅

２　共同住宅

３　商業系施設

1. 戸建て住宅

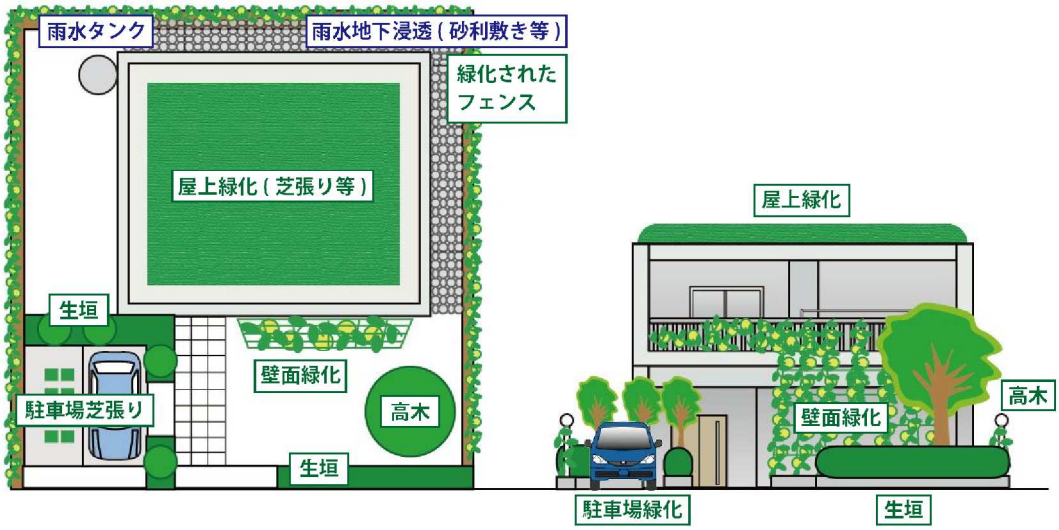
戸建て住宅を構成する重要な要素を 3 つに分類し、ゆとりと潤いある都市景観の観点から配慮すべき事柄の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

戸建て住宅は、落ち着いた住居環境を大切にするとともに、街並みと調和し、亜熱帯の緑豊かなデザインを心がけることが重要です。

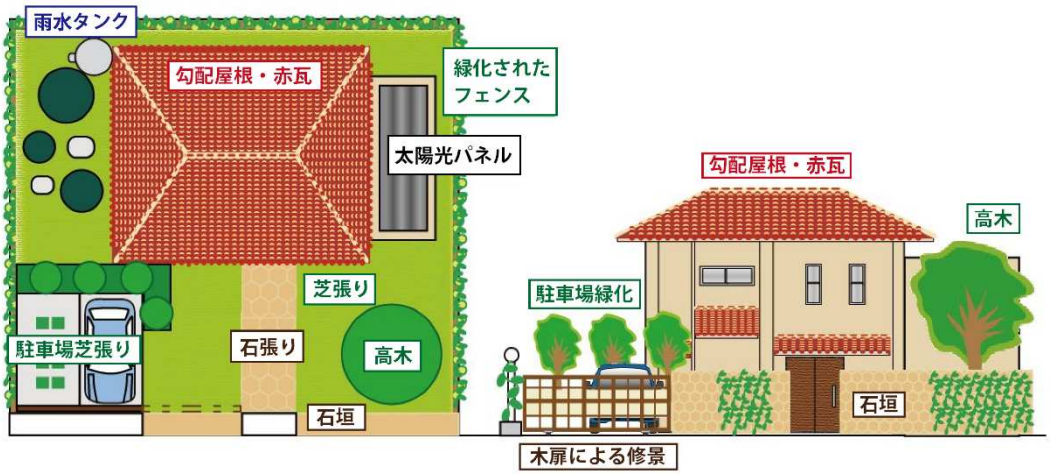
【戸建て住宅で重要視する要素】

位　置　等： 壁面後退、車庫
形 態 意 匠： 色彩、屋根、屋外設備
緑　化　等： 塀･生け垣、屋上･壁面緑化

一般的な戸建て住宅修景事例



歴史的地区での戸建て住宅修景事例



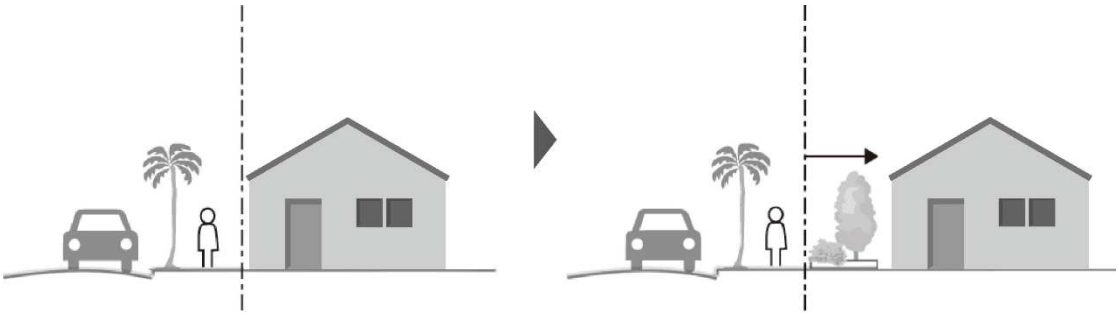
位置等

1-1 壁面後退 （景観ガイドラインP44）

デザインの Point

- ◆ 道路空間などから、建築壁面を後退することで、通りへの圧迫感が軽減できます。
- ◆ 壁面後退による空間を緑化することで、潤いのある街並み景観を創出することができます。

壁面後退イメージ図



壁面後退による圧迫感軽減への配慮

隣接する住宅の壁面の位置を揃えるように壁面後退を行うことで、道路を広く見せ、通りへゆとりをもたらします

道路沿いに建ち並ぶ住宅それぞれが同様に壁面後退を行い、車庫と緑化を組み合わせることで、潤いある景観を創出

壁面後退による緑化空間の創出

住宅前面部分を壁面後退させ、緑化空間を創出

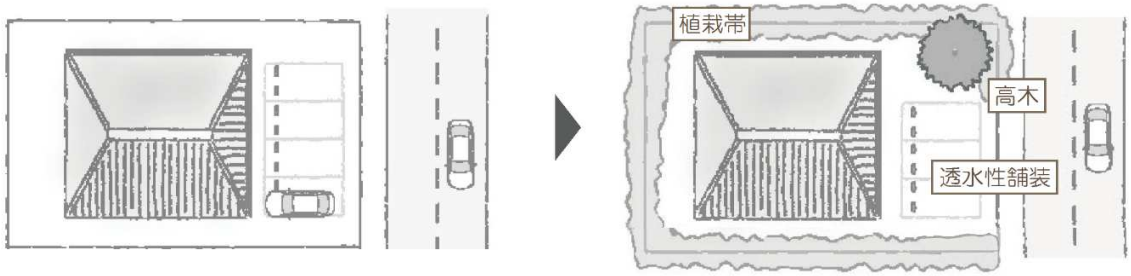
壁面後退部分を花壇として活用し、通りに潤いを創出

1-2 車庫 （景観ガイドラインP62）

デザインの Point

- ◆ 駐車スペースの地面に芝生などを活用することで、雨水の浸透性を高める効果があります。
- ◆ 車庫は周辺景観に影響を与える要素となることから、車が道路から見えにくいような工夫や広がりのある枝ぶりの高木で目立たなくする工夫をしましょう。

車庫イメージ図



駐車スペースの目地

駐車スペースは、洗い出しや化粧目地でデザインし、わずかなスペースを活用して緑化修景した事例

駐車スペースのわずかな部分を緑化し、雨水地下浸透に配慮した事例

植栽による緑陰の創出

駐車場の屋根部にツル性植物を這わせ、緑陰を創出

高木による緑陰の創出

車庫部分に高木を計画し、緑陰を創出

建築コラム　雨水の地下浸透について

舗装材に多孔質な素材を用いて雨水を自然に地中へ浸透させることで、雨水排水施設の負担軽減を図るとともに、周辺の樹木や草花の良好な生育を促すことができます。また、蒸散効果により気温を低下させ、ヒートアイランドの抑制にも貢献します。

雨水浸透桝

透水性側溝

透水性アスファルト

緑化ブロック

■事例集

敷地境界部分に透水性のある砂利敷を行った事例

コンクリート舗装に浸透性の目地を設けた事例

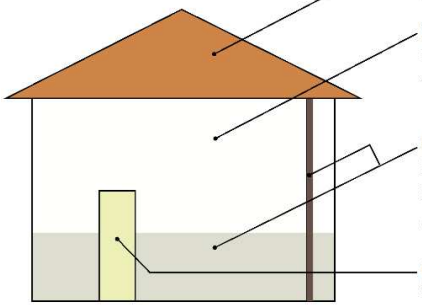
形態意匠

1-3 色彩 （景観ガイドラインP48～54）

デザインの Point

- ◆ 建築物及び工作物の外観における基調となる色彩については、亜熱帯独特の自然の豊かな彩りが感じられるコーラルホワイト※を中心とした色彩や低彩度の色彩を使用することで、統一感のある都市景観がうまれます。
- ◆ 周辺の住宅と同様なデザインや色彩などに配慮することで、街並みの連続性や統一感がうまれます。
- ◆ アクセントカラーを小部分に効果的に用いることで、全体の配色を引き締める役割となります。また、素地色を生かした色彩とすることも効果的です。

※ 「コーラルホワイト」とは、那覇市のタウンカラースタンダードのために、琉球石灰岩のソフトな白をイメージしてつくった言葉です。



屋根色
屋根の色です。
那覇は赤瓦の屋根の色が都市の大切なアイデンティティとなっています。

基調色
最も大きな面積を占める色を基調色と呼びます。
個々の建物の色というだけでなく、まち全体の色として、とても大切な存在です。

補助色
基調色より小面積で、基調色に添える色を補助色と呼びます。
建物全体の外観にリズムや変化をつくり、表情を与える存在です。主に低層部や小面積の付属物などに使います。

強調色
背景の色と大きな差があり、目につきやすい色が強調色です。
小部分に効果的に用い、全体の配色を引き締める役割をもっています。
強調色の中でも、赤や黄、原色などの誘目性の高い派手な色を、特に**誘目色**と呼びます。

基調色による街並みへの配慮

コーラルホワイトを中心とした色彩計画

基調色に薄桃色を採用し、アクセントカラーにも近似色を採用することで壁面の色彩を統一

同様なデザインや色彩に配慮した住宅地

屋根色、壁面共に色彩の統一化を図ることで、街並みの連続性や統一感を創出

コーラルホワイト色の石垣(琉球石灰岩)と緑道、落ち着いた色彩の連続性により、良好な街並みを創出

壁面にコーラルホワイト色を用いることで、沿道空間の統一感を演出

アクセントカラーを活用した住宅

住宅の界壁部分にアクセントカラーを用いることで、全体の配色を引き締め、豊かな表情を創出

建築物の 1 階部分(低層部)に補助色を用いることで外観に変化を与えている

1-4 屋根 （景観ガイドラインP55）

デザインの Point

- ◆ 建ち並ぶ住宅の屋根の形状や素材を統一感のあるデザインとすることで、調和した街並みとなります。
- ◆ 赤瓦などを活用することで、沖縄の文化を感じさせる景観となります。

統一感のあるデザイン

屋根の形態を勾配屋根で揃えることで、豊かなまちなみ空間を演出

赤瓦を活用し街並みの統一感を演出

屋根に高低差をつけ街並み景観にリズムを創出

赤瓦素材を活用した屋根

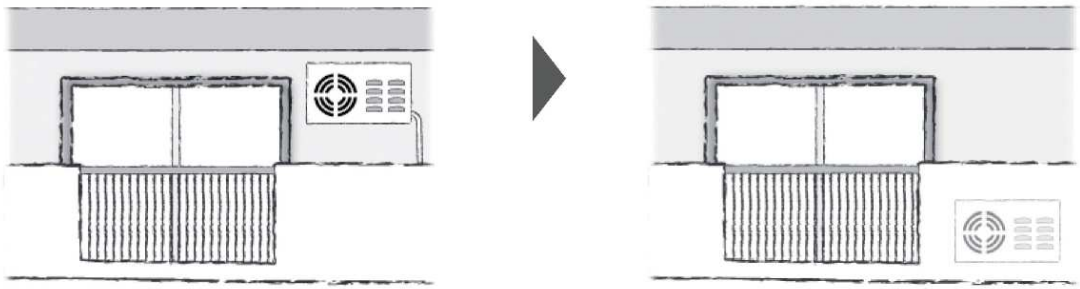
在来瓦を葺いた屋根

S 型瓦を葺いた屋根

1-5 屋外設備 （景観ガイドラインP58）

デザインの Point

- ◆ 室外機や高架水槽などの設備はルーバーなどを活用して修景することもできます。
- ◆ 給水設備に高架水槽を採用する場合は、できるだけ露出を避け、景観に配慮した計画としましょう。



室外機は、周囲から視認されにくいよう配慮する

室外機への配慮

ルーバーで室外機を隠した事例

手すり壁にルーバーを活用し、室外機を見せないように計画

高架水槽への配慮

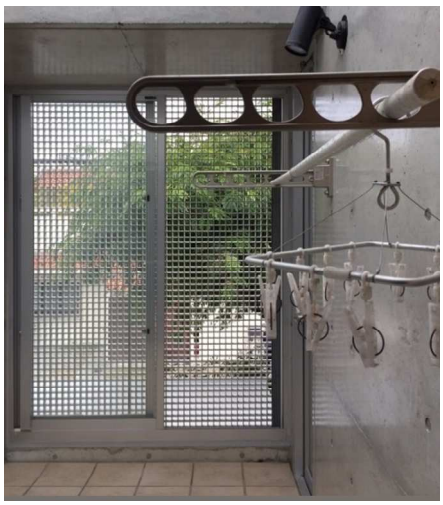
アルミルーバーで軽やかに修景した事例

花ブロックを用いて修景した事例

物干しへの配慮

物干しは、周囲から視認されにくいよう配慮する

FRPグレーチングを活用し修景した事例（外部）



FRPグレーチングを活用し修景した事例（内部）

高木や中木などの緑化を活用し、物干し竿を隠している事例

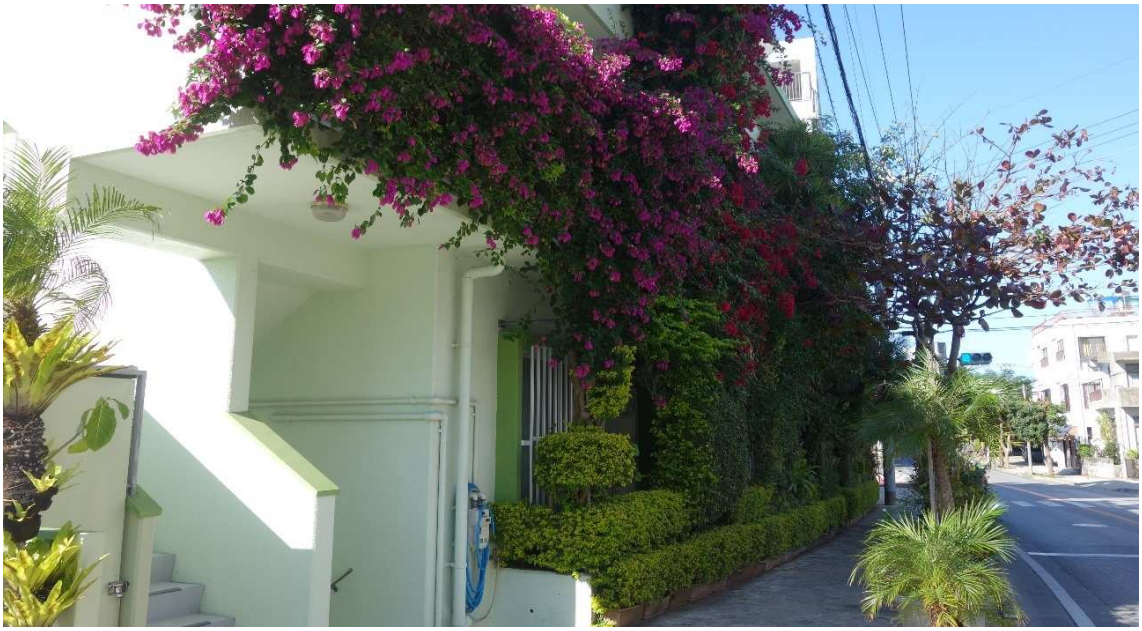
緑化等

1-6　塀・生け垣　（景観ガイドラインP67）

デザインの Point

- ◆ 緑化による潤いを感じる演出に心がけることで、生活空間に潤いをもたらすことができます。
- ◆ 塀・柵などは生け垣や緑化することで、良好な街並みを形成するとともに、道路からの目隠し効果もあります。
- ◆ 自然素材と組み合わせた生け垣にすることで、沖縄らしさを演出することもできます。

道路沿いへの緑化



塀・生け垣とベランダ部に緑化し良好な街並みを形成

わずかなスペースを活用した緑化（敷地境界）

わずかなスペースを活用した緑化（道路境界）

1-7 屋上・壁面緑化 （景観ガイドラインP56・60）

デザインの Point

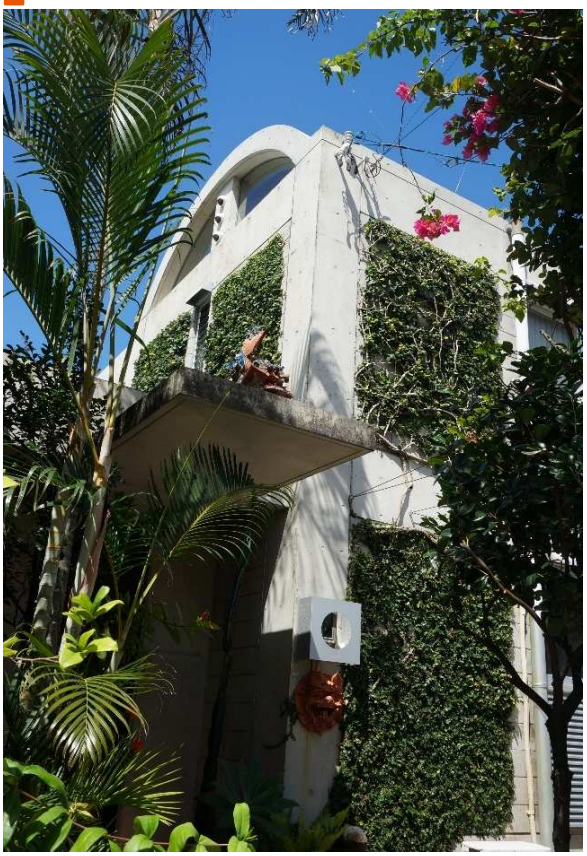
- ◆ 屋上や壁面を緑化することで、良好な景観を創出し、生活空間に潤いをもたらすことができます。
- ◆ 屋上や壁面は周辺からよく見えることから、手入れも重要な要素となりますので、適切な維持管理に心がけましょう。

屋上緑化

芝を用いて屋上緑化を行った、心地よいテラス

勾配屋根に合わせて屋上緑化を行うことで、遠方からの景観にも配慮

壁面緑化



壁面を全面的に緑化することで亜熱帯庭園都市を体現

建物の一部に緑化を施すことで建築物に潤いを創出

鋼製の手すりにブーゲンビレアを登はんさせ、壁面緑化を行い良好な景観を形成

建築コラム　植栽で緑豊かな景観づくり

緑化を楽しもう

住宅の周囲を緑豊かな植栽にすることで、外から見ても、内から見ても爽やかな景観をつくることができます。高木、中木、低木、草花、ツタ、ツルなどの植物を活用して、緑化に取り組みましょう。

シンボルツリーに適した植物は？！

街並みや景観に良い影響をもたらすシンボルツリーは、植樹する庭と樹高や樹冠、樹形のバランスに気を付けた計画とすることが大切です。また、常緑樹と落葉樹を上手に組み合わせることで、四季を楽しむことができます。

シマトネリコ

ソウシジュ

コガネノウゼン(イッペー)

壁面緑化に適した植物は？！

壁面緑化では成長の早いツル植物を用いることで、緑豊かな景観が創出でできます。また、常緑樹を採用することで一年中壁面緑化を楽しむことができます。季節感を楽しむため、落葉樹を選択する場合は近隣への気配りをお願いします。

カエンカズラ

ブーゲンビレア

オオイタビ